

北1 ドローンを用いた自動点検・診断システム

求める技術：⑦

1 課題を抱える業務の内容

現在、浄水場等施設では、各設備の点検時に人が現場へ行き、目視等で行っております。実際に現場へ出向いての点検は時間と人手がかかり、点検箇所によっては近寄り難い場所や、高所等では足場を組まないと点検できないことがあります。また、施設や設備の劣化判断は、点検者の経験等によって結果に差が出ることがあります。



高所の外壁や配管イメージ

2 課題の詳細

自動運転するドローンにより、各設備の点検と劣化診断が可能になれば、実際に現場へ行く労力が省力化でき、人手や時間を要する点検作業の大幅な効率化と統一的な劣化診断に繋がります。

3 こんな技術を求めています！

あらかじめ指定したルートをドローンが自動飛行して点検を行い、AIによる画像解析等で設備や外壁等の劣化状態を診断する技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

毎日の場内巡視業務

設備機器等の定期点検業務

5 事業規模・業務量

場内巡視 → 作業頻度：毎日、作業時間：2時間

定期点検 → 作業頻度：1回／月、作業時間：1時間／1箇所